車両検知センサーPSS・PSTシリーズの仕様一覧

機種名			PSS-100-1T	PSS-100-4T	PSS-200-4T	PST-103A	PST-103AC	PST-103A-P	PST-103AJ	PST-103A-BJ	PST-103AC-BJ	PST-202A	PST-202AC	PST-202A-P	PST-202BJ	PST-202AC-BJ
機能	在車検知		○	○	○											
	通過検知					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1ch内蔵		○	○		○	○	○	○	○	○					
	2ch内蔵				○							○	○	○	○	○
	ループコイルのターン数		1T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T	3-4T
	通過方向判定											○	○		○	○
	周波数モニター				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	感度モニター				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	感度設定				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	感度倍率		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出力接点（リレー）	メカニカル	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
		半導体						○						○		
	ループコイル異常時出力強制ON								○	○	○				○	○
	ループコイル異常信号外部出力									○	○				○	○
	電源電圧	DC	○	○	○	○		○	○	○		○		○	○	
		AC					○				○		○			○
	外形寸法(mm)	高さ	107	107	117	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165
		幅	56	56	70	70	70	70	70	70	70	100	100	100	100	100
		奥行	28	28	26	35	46	35	35	35	46	42	46	42	42	46

★仕様は改善のため予告なく変更する可能性があります。また、機種によっては事情により供給できない場合もありますので、採用を検討される場合は、当社までお問い合わせください。

＜表の説明＞

左の各機能に対し○がついている機種がその機能に対応している、あるいは設定可能であることを表します。

各機能の内容については以下をご覧ください。

在車検知

車両の駐車検知に適している機種です。長時間の駐車でも周囲の環境に左右されず安定した検知を行います。

通過検知

車両の通過検知に適している機種です。通過検知用アルゴリズムを使用することで高速通過の検知も行います。

1ch内蔵／2ch内蔵

1台の検知器に内蔵されているチャンネル数を表します。2ch内蔵タイプは1ch×2としても使用できます。

ループコイルのターン数

接続するループコイルの基本的なターン数（巻き数）を表します。ターン数はループコイルの大きさにより変わります。

通過方向判定

ループコイルを2個設置することで検知器1台で通過方向の判定ができます。

周波数モニター

ループコイルの動作周波数は巻き数により決まります。設置したコイルの巻き数が適正であるかを表示します。
また、断線、ショートも知ることができます。

感度モニター

現在の感度を数字で表示します。これにより検知感度の調整を確実に行うことができます。

感度設定

車両を検知する閾値（しきいち）を調整することができます。

感度倍率

車両を検知する感度を2倍以上にすることができます。

検知出力

車両を検知した場合に、その出力信号をメカニカルリレー/半導体リレーのいずれで出力するかを表します。
通常はメカニカルリレーで十分ですが、1日に数百台の車両を検知する条件などでは半導体リレーをおすすめします。
（メカニカルリレーはON/OFFできる回数が規定されています）

ループコイル異常時出力強制ON

ループコイルの断線やショートなど異常を検知するとリレー接点を強制的にONにします。
他の機種はループコイルの異常を表示はしますが、リレー接点の状態は不定となります。

ループコイル異常信号外部出力

ループコイルの断線やショートなど異常を検知すると外部に異常信号を出力します。
異常信号出力は半導体リレーで行われ、正常時ON、異常時OFFとなります。（電源断時はOFF）

電源電圧

検知器の動作電圧を表します。基本的にDC（直流）はDC＋11～30V、AC（交流）は商用電源AC100/200Vに対応しています。
（電源電圧は機種により異なる可能性もありますので、最終的には説明書等で確認してください）